牛のために校庭で牧草を育てよう！

畜産技術部（畜試）
平成22年7月8日

岩国市にある灘小学校では、4年生の総合学習の一環として、食と命をテーマに学習を進めています。児童たちは、給食で毎日飲んでいる牛乳からスタートし、牛について学び、牛から牛乳を分けていただいていることのお返しとして、牛のために、牧草を育てることになりました。

梅雨の中休みとなった6月29日に、畜産振興協会、岩国市内の酪農家、畜産技術部が先生となって、瞳をキラキラ輝かせた29名の児童たちに牛や牧草についてのお話をした後、校庭の片隅に耕された畑に全員でスーダングラスの種をまきました。

これから、毎日観察し、夏休みの収穫まで、大切に管理していくことを約束してくれました。

夏の収穫・サイレージ調製を通じて、おいしい牧草を牛へ給与し、牛に喜んでもらうことをゴールとして取り組み、食と命を考える児童たちを、農家や地域と一体となって、指導・応援していきます。

熱心に牧草の話を聞く児童たち

みんなで協力して播種準備